

このリーフレットの提案モデルで使用する製品

仮想環境の膨大なバックアップデータを最小限に抑えるには

JP1/VERITAS NetBackup 7 他 税込価格 1,448,580円～
(サーバのTier、バックアップ対象の容量/出力先によって
価格が変動します)

物理サーバと仮想マシンの混在環境を統合管理するには

JP1/Integrated Management 他 税込価格 661,500円～
(監視対象サーバの数によって価格が変動します)

エージェントレスで物理サーバと仮想マシンの両面から性能を監視、分析するには

JP1/Performance Management 他 税込価格 1,228,500円～
(監視エージェントの数によって価格が変動します)

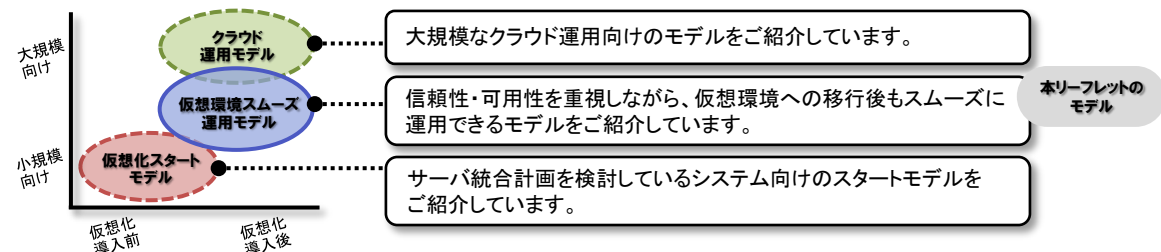
仮想環境の運用を自動化するには

JP1/Automatic Job Management System 3 他 税込価格 504,000円～
(CPUの数によって価格が変動します)

このほかのモデルのご紹介

仮想環境スムーズ運用モデルのほかにも、日立オープンミドルウェアの仮想化に関するシステムモデルを
ご紹介しています。詳しい情報は下記ページからご覧ください。

<http://www.hitachi.co.jp/soft/virtual/sol/>



製品サイトのご紹介

このリーフレットで扱っている製品の詳しい情報は下記のページからご覧ください。

統合システム運用管理 JP1

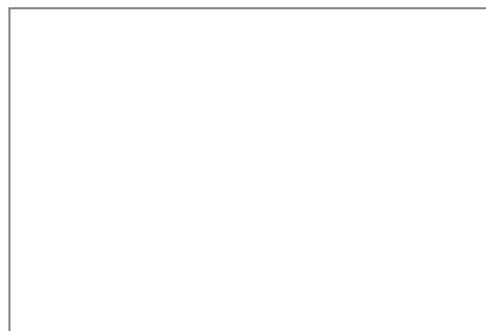
<http://www.hitachi.co.jp/jp1/>

製品に関するお問い合わせ

製品に関するご相談は、下記の連絡先までお気軽にお問い合わせください。

HMCC (日立オープンミドルウェア 問い合わせセンター)
0120 - 55 - 0504

携帯電話、PHSなどからは03-5439-2733 (通話料: 有料)
利用時間 9:00~12:00、13:00~17:00 (土・日・祝日・弊社休日を除く)



仮想環境スムーズ運用モデル

最適な仮想環境を維持する 運用管理のご提案

仮想環境に移行したら
バックアップのデータ量が
増加してしまった

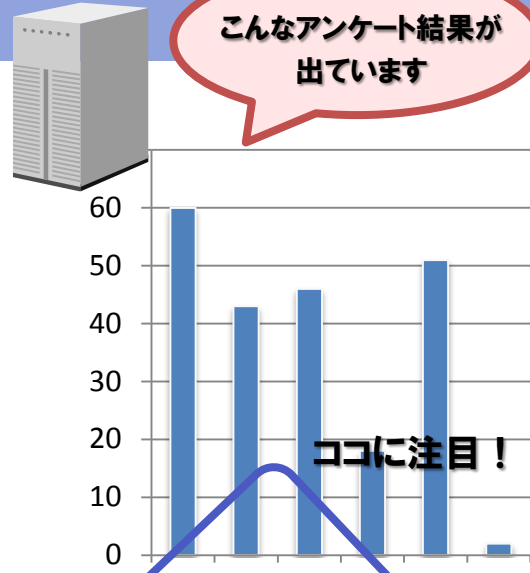
仮想環境の
構成管理が複雑で難しい

仮想環境の性能が低下
してきてしまった

仮想環境での運用管理をこれから検討したい
お客さまにぴったりのシステム運用をご紹介します！

JP1で最適な仮想環境を維持しましょう

仮想環境への移行後、
課題となっていることは？



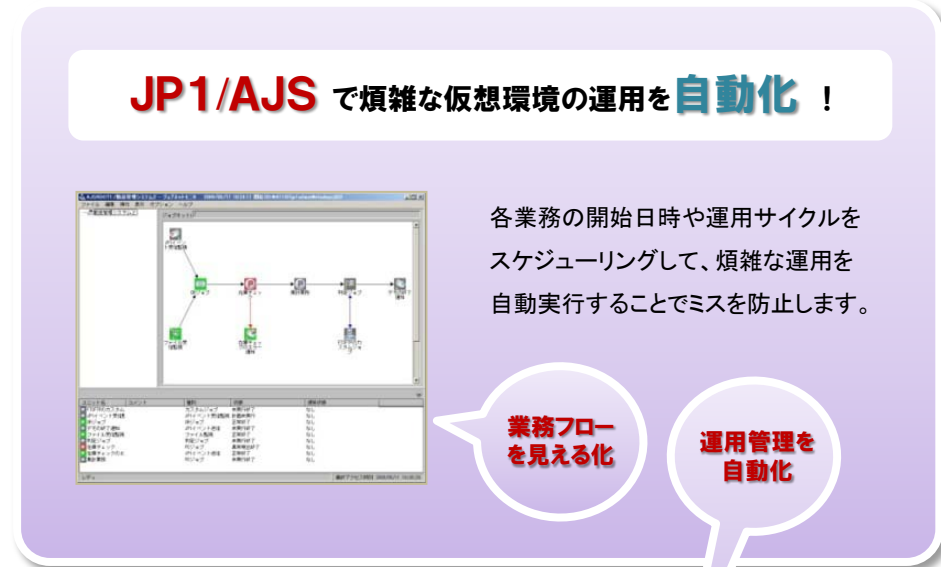
仮想マシンの管理が複雑
システムのパフォーマンス低下
障害発生時の切り分けが困難
バックアップデータの増加
社内エンジニアの知識・スキル不足
その他、無回答

【参考】
2010/11/9開催 vFORUM2010(ガイムウェア社主催)
日立JP1セミナーアンケート結果

運用管理が
課題の大半...

障害管理
構成管理
バックアップ管理
性能管理

仮想環境への移行後の
さまざまな課題はJP1に
おまかせ!



JP1/VERITASで膨大になりがちな仮想環境の**バックアップ**データを効率管理

A A C
B D B

重複部分は排除してバックアップ

A B C D

バックアップデータの重複をセグメントレベルで防ぐので、バックアップ容量を最小限に抑えます。

JP1/IMで物理サーバと仮想マシンが混在した構成を統合管理

わかりやすい障害監視

物理サーバと仮想マシンの構成を管理し、障害の発生個所とその影響範囲を容易に特定できます。

JP1/PFMで物理サーバと仮想マシンの両面から性能を監視・分析

分析に便利なレポート機能

エージェントレス監視

エージェントレスでシステム構成を変えずに稼働情報をきめ細かく監視し、正しい分析と仮想環境の最適化の実現を支援します。